

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校

第 19 号

R5. 12. 1 (金)

願書を書こう

◎受験への準備

12月に入りました。さて、本日は願書書きの練習をします。先日の自己PR書に書いてもらったように、住所、保護者氏名、電話番号など正確に、楷書で書くようにしましょう。

☆ 願書 受験をする際、(人物)自分自身よりも先に高校側に見てもらう書類です。楷書で丁寧に書くことを心がけましょう。(人となりがわかります。) 私学では一部の学校でWEB出願を導入されています。12月(本日より)登録や入力ができるそうです。各家庭でPCやタブレット、スマホなどで入力し、プリントアウトをしてもらいます。受験をしようと思う学校のHPはよく見ておきましょう。マイページの登録が必要です。

☆ 面接練習 年明けから開始します。本番のような雰囲気、限られた時間の中で質問の受け答えをしてもらいます。教室に置かれている過去問をよく見ておきましょう。特に公立前期選抜は『求める生徒像』を必ず読んでおきましょう。

★面接・作文の対策は、時間のあるうちに★

志望校がクリアになってきた人は、面接や作文のことも気にしているのではないのでしょうか。休み時間、教室にある面接・作文過去問を見て情報を収集している人もいそうですね

面接や作文が問いたいのは、「あなた自身」のことです。答えるべきものは自分の中にあります。中学校3年間。人生15年間。そこに感じた喜怒哀楽。何を好きになり、何が許せなかったのか。大切にしてきた心、価値観、時間を忘れて夢中になったもの、等々。普段日記を書いていた、トークインなどの作文をきちんと書いている人は、作文・面接が例年「強い」です。節目節目に振り返ることで、「自分」を客観的に見るのですからね。とは言っても、「自分」のことなんて、良くわからない…という人もいます。そんな人は、まず自分が経験したことを紙に書き出したり、友達や先生、保護者などの他者に自分の長所/短所などを尋ねたりするなど、自分を掘り下げるところから始めてみてください。時間はかかりますが、効果は大きいです。早め早めに用意していきましょう。

※面接・作文過去問のコピーも、計画的に担任の先生に頼んでおいてください。

志望校の魅力、自分の良さをアピールできるように準備しておきましょう。

(裏面あり)

◎「入学案内〈京都市・乙訓通学圏〉」について

本日、配布の冊子は京都府の公立高等学校への進学を希望する人のためのものです。表紙には選抜の日程（流れ）や『※**特別事情具申**』について明記されています。内容をご確認いただき、該当する場合は担任通じてご相談下さい。

また就学支援金の申請が12月20日まで（中学校へ提出）となります。資料を請求されたご家庭は期日までに必ず中学校へご提出ください。